

道徳通信

No.3

安田中学校

令和6年3月22日

3学期の道徳の振り返り

今年度も今日で終わりです。3学期はあっという間だったと思いますが、卒業式という大きな行事を通して、1, 2年生も次の学年に進む心構えができたのではないのでしょうか。

学期毎に道徳の授業での皆さんの様子をお伝えしてきましたが、この1年間で仲間のいろいろな発言や考え方に触れることで、自分の考えを深め、道徳の学習を通じて学んだことを自分事としてとらえて、生かそうとする姿が見られるようになってきました。

1年：ガジュマルの木

アンコールワットにある遺跡タ・ブロームを覆うガジュマルの木に衝撃を受けた主人公の心に共感的に理解することを通して、美しいものや気高いものに感動する心、人間の力を越えたものに対する畏敬の念について学びました。



- ・キャンプに行ったときに、森に囲まれていて、川で魚が泳いでいて、きれいだなと思った。家から夕陽を見たり、海を見たりしてきれいと思ったし、驚きもした。私はガジュマルの木は見たことがないけど、今日写真で見て、根が太くて長い、建物を貫いている、建物がつぶれそうと思って少し怖いと思ったし、大きな木が遺跡を飲み込もうとしていることに驚いた。
- ・夏とかは特に夜寝ていると、窓の外から虫たちの声が聞こえてくるのが自然と感ずることがあります。花が風に揺れたり、家まで波の音が聞こえたり、鳥がベランダの物干しざおに止まっていたりなど、そういうときにも自然を感じます。台風や地震、火山噴火も怖いし、怖いというイメージもあるけれど、やっぱりそれらも自然から出ているのですごいなと思いました。
- ・自然のおかげで風力発電、地熱発電ができる。人間に協力してくれているという場面もあれば、台風や津波といった人間に刃を向けてくる場面もあります。自然も人間と同じように喜怒哀楽の感情を持っており、色々なことをするのだとわかって感動しました。自分たちのしていることが返ってくるのだとも思いました。

2年：本物の将棋指し

病を抱えながらも、将棋に一生を捧げた村山聖さんの生き方について考えることを通して、夢や目標に向かって生きることの大切さに気づき、困難や失敗を恐れず、自らの夢や目標に向かって努力していく姿を学びました。



- ・自分の心が折れないということは必死に戦っている証かもしれない。
- ・命を取るんだったら、治療に専念するべきだけど、将棋に人生を捧げたのはすごいし、本当に人として素晴らしいと思った。
- ・夢を持って生きていけば、人生が豊かになる。
- ・夢を持って生きることは幸せということが分かったので、僕も夢を持ちたい。
- ・夢を持つことは頑張っている生きていくための目標になると感じた。

3年：ある元旦のこと

挨拶板に深々と頭を下げる少年を目撃した筆者の感動を共感的に理解することを通して、人と人との心の通い合いの良さに気づき、人は互いに支え合って生きていることを自覚し、思いやりと感謝の心を持って他者に接することを学びました。

- ・感謝に対して感謝が返ってくることはうれしいことなんだなと思った。日ごろから感謝を大切にしていきたいと思った。
- ・感謝する心は必ず自分に返ってくる。礼を伝えることは大切だと思った。礼儀は社会に出ても必要なので、礼儀正しい人になりたいと思った。
- ・素直に感謝できる純真な心が大切。感謝されたら良いことで返す。何事も感謝。

家庭で取り組む高知の道徳について



この1年間でみなさんはどのように成長したでしょうか。春休み中に1年間を振り返って、自分の「良いところ」や「伸ばしたいところ」をおうちの人と話し合ってみましょう。話し合ったことは「家庭で取り組む高知の道徳」P.37に記入しましょう。

〈返信〉 () 年 氏名 ()